

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	金井 美紗衣 【理学専攻 平成24年度生】	<p>本論文では、動的立体特性に基づくセンサー分子の創製研究について述べられている。具体的には、ヒドロキサム酸誘導体の溶媒依存的な立体構造変換を利用した蛍光センサー分子の開発およびα-ヘリックスを認識するキノリンオリゴアミドフォルダマーによるセンシングについて新しい機能性分子の創製を達成した。</p> <p>学位論文審査は4回にわたって開催された。本論文では、申請者は新しいコンセプトに基づいたセンサー分子の開発に成功しており、当該分野において優れた研究成果をあげたことを示している。本論文の内容の一部は、有機化学の国際誌に掲載されたほか、国内外の当該分野の学会で発表されている。</p> <p>これら研究成果をふまえて、以下の日程で学位論文審査を実施した。</p> <p>第1回は平成27年1月6日に開催した。提出された論文の内容、構成の改良すべき点への助言がなされ、第2回目以降の審査方法について審査委員の間で合意をとった。</p> <p>第2回は平成27年1月7日に開催した。学位申請者による50分程度の研究内容説明の後、各種の質疑を取り交わし、論文内容の修正や改善（研究背景、分子設計と考察のより詳細な記述、化学用語の不備、幾つかの図表の追加・修正等）について学位申請者に指示を出した。</p> <p>第3回は平成27年1月23日に開催し、修正された論文の内容を審査委員の間で検討、議論し、十分に改善されていることを確認し、次回を公開発表会とすることが認められた。</p> <p>公開発表会は平成27年1月28日に開催し、申請者により、修正された論文内容に基づく発表がなされ、また質問に対する応答は的確であった。公開発表会後の最終審査会（第4回）では、公開発表会における質疑応答および論文内容の最終確認を行った。</p> <p>以上の結果から、本審査委員会は、本論文が人間文化創成科学研究科の博士（理学）（Ph. D. in Chemistry）の学位を受けるに相応しいと判断した。</p>
論文題目	動的立体特性を利用したセンサー分子の開発	
審査委員	(主査) 准教授 棚谷 綾	
	教授 山田 眞二	
	教授 益田 祐一	
	教授 近藤 敏啓	
	准教授 矢島 知子	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可・否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	